

東京全時間訓練便り

2019

-春季-

今年の4月から5名（兄弟1名、姉妹4名）の新入生を迎え、合計6名で三か月間、訓練が経過しました。彼らが真理だけでなく、生活、実行の面でもバランス良く訓練されて有用な器となるように、トレーナー、T A、ティーチャーの兄弟姉妹で取り組んで奉仕しております。



真理の面では、今年は一年と二年で分かれていたクラスをすべて統合して、すべてのクラスを一二年合同であずかる形で行ない、共に霊を活用し、からだの供給にあずかり、集中してクラスに入り込めるようになりました。

生活の面では、整理整頓チェック、祈りと働きの日誌が回復され、さらに、聖書通読、午後の個人の祈りの時間、毎日の御言一節の暗唱、週末のスケジュールの計画などが加えられました。

実行の面では、福音と牧養の目標を定め、実行しています。生養教建の四つのステップを理解だけでなく、実行において学べるように努力奮闘しています。福音に出て行く前に、しっかりと祈り読みを通して霊で満たされ、大胆に福音を語ることを訓練し、新人を家庭集会を通して牧養しています。先週は、初めて訓練生だけで福音企画を行ない、16名ほどの新人と友人が集まりました。そして週に一度、水曜日の夜は断食の祈りで必死に主に祈り求めることを訓練しています。

各地の諸召会に全時間訓練に対する理解と負担を持っていただくため、また若い兄弟姉妹に訓練の種をまくために、各地の訪問も毎月実行しております。前期は掛川と市川を訪問しました。訓練生自身が養われ、新鮮にされ、学びとなるだけでなく、その地の召会も彼らの強く新鮮な霊に触れて生かされました。今後も訓練生と若者との接点を増やして行くために取り組んでおります。



今年の8月の末に「特別短期訓練とオープントレーニングセンター」を持ちます。今年は、プレトレーニングの内容も兼ねて特別短期訓練を行なう予定です。主が東京全時間訓練を祝福し、訓練された若者を生み出し、各地召会の祝福と前進の要因となることができますように。

15期生の訓練における召しと享受の証

-松本 知恵-

私の家族が宗派から回復された時、多くの訓練卒業生や訓練生が沖縄に来てくださいました。彼らから溢れるキリストに魅了され、中学生の時からこうなりたいと願うようになりました。

ところが大学生になり、この世の娯楽や友人との交流により、完全にキリストを中心とする生活から離れてしまいました。訓練への願いも減り、集会に行っても喜びがありませんでした。

しかし大学生生活残り半年という時に、目が開かれ、この世の墮落した状態に気づき、早く主がこの地を得て欲しいと願うようになりました。この時初めて自分から主を本気で求め、自然と死の状態から回復することができ、訓練に行くことを決心しました。

確信した後、主から多くの祝福があり、これが主の定められた道だとわかりました。主はこの時代を転換する多くの若者を必要としておられます。どんな器でも、陶器師である主は、彼が用いることのできる器へと徐々にわたしたちを造り変えられます。主があなたを召し出し、この溢れるばかりの豊かな訓練生活へと導かれますように。



-木戸 映見-

私は訓練の中で、からだの供給を経験しました。

私には、自分が霊的にとても弱くて、自分ではどうすることもできないと思う時が多くあります。訓練に来る前は、そういう時どうしたらいいのかわからなくて、前進できませんでした。でも訓練に来て、兄弟姉妹との交わりを通して供給され、助けられて前進できることを経験しました。また、月一回の地方召会訪問で、毎回ブレndィングを通してとても供給されています。キリストのからだ、兄弟姉妹を感謝します!



-渡辺 集輝-

ヨハネ8:32

「またあなたがたは真理を知る。そして真理はあなたがたを自由にする」。

真理とは神聖な事柄の実際、すなわち主ご自身です。真理を学ぶのは、聖書の知識を得るためではなく、神聖な要素がわたしたちの中へともたらされ、主を実際として経験し、享受するためです。最近、クラスの間テストがあったのですが、そのテスト勉強やテスト中でさえ、真理がつくり込まれる機会となる必要があると照らされました。さらに真理で構成されることを願います!



-中 裕美-

ヨハネ15:16

「むしろ、わたしがあなたがたを選んだのである……それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり」。

私は訓練で福音と牧養をエンジョイしています。私たちは福音に出て行って実を結び、実が残るように養うことを神に委ねられています。人を養うためには人性の顧みが非常に重要であると感じています。訓練では実行面を学ぶクラスがあり、牧養においてすごく助けになっています。



-渡辺 重志-

主の恵みと兄弟姉妹の多くの祈り、また支えがあり、このように訓練があることを感謝します。

私は2年間の在職生活を経て、訓練へ導かれました。在職時は仕事に追われる日々で、兄弟姉妹と交わる機会は在職前に比べて、極端に減っていきました。主日の集会だけでなく、特別集会やブレンディングの機会等にも参加できなくなり、私の召会生活は日に日に後退していきました。2019年になり、在職3年目に差しかかるようになっていた時、来年度の進退を考えていました。その時に、地元にいる他の若い兄弟たちに対して負担がわき始め、今の召会生活に対する危機感のようなものを感じるようになりました。そのように感じ始めた頃から、11月の東海・全国特別集会への参加に始まり、同年代の兄弟たちとの電話での交わりや地元での集会の中で、今までになく主を享受し始めるようになりました。この期間、次から次へと環境が起こされ始め、主からの供給が増すと同時に、訓練に対する必要は日に日に強く感じるようになりました。訓練に行くにあたって、「上司に怒られるんじゃないか」「姉と同期になるのは避けたい」「こんな状態で訓練やっていけるのだろうか」と不安に思うこと、妨げもありましたが、日ごとに享受が増し加わる中で、主からの召しを無視することはできませんでした。そして、この職場にとどまり続けることはできないと感じ、訓練への参加を決めました。

主に感謝します。ピリピ3:10『キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて』私たちはキリストの復活の力にあずかり、またそれを享受する時、彼の苦難にあずかり、彼の死に同形化され、十字架につけられた命を生きることができます。私たちは、からだの中で、復活の力の実際であるその霊の供給にあずかる時、前進を持つことができます。この2年間、キリストのからだの建造の為に、多くの兄弟姉妹とブレンディングされ、からだの一を享受することができますように。





～ 訓練での一日 ～

6:00 起床	12:30 キャンパスワーク・牧養
6:30 朝ごとの復興	16:00 個人の祈り
7:00 朝食	16:30 クラス3
8:15 聖書通読	17:45 夕食
8:45 クラス1	19:00 自習
10:30 クラス2	22:10 夜の団体の祈り
12:00 昼食	22:30 就寝

2019年夏の特別短期訓練について

対象：18歳以上で35歳以下の全時間訓練に対して願いや興味のある青年

期間：8月26日（月）15:00 から9月1日（主）正午まで（昼食付き）

受付：8月26日（月）13:00-14:30

場所：訓練センター

また、8月31日（土）18時から20時00分まで早稲田の基臨ビルの4階でオープントレーニングセンターを行ないます。夕食を用意いたします。こちらは年齢制限がありませんので、18歳以下の兄弟姉妹や奉仕者の兄弟姉妹もご自由にご参加ください。食事の用意の関係上、参加希望される方は、ftttk@jgw.or.jpまでご連絡ください。